

序

この度、群馬県立世界遺産センター紀要第2号を刊行する運びとなりましたことを、職員、関係者一同、大きな喜びと誇りとともに皆様にご報告いたします。

今回の紀要では、昨年度末に開催したセカイト講演会「富岡製糸場におけるイノベーション」の関連研究、また現在の日本蚕糸業の技術革新の現状について、さらには、2020年3月のセンター開設以来、石井寛治名誉顧問の指導の下、当センターの研究員各自が真摯に取り組んできた「世界遺産の価値を高める調査研究」の成果まで、個々に掲載することができました。また、これらの調査研究成果に加え、今回からは講演会、研究会、勉強会、現地調査など、当センターの調査研究の活動状況も掲載することにしました。

改めて本書を見てみると、「世界を変える生糸の力」研究所の愛称に恥じない立派な内容であると自画自賛すると同時に、何もないところからここまで導いてくださった石井名誉顧問、その指導を受けながら熱心に調査研究に取り組んだ研究員諸君、多忙の中執筆してくださった鈴木淳先生、桑原信夫主席研究員、研究会に参加してくださった多くのメンバーの皆様、関係者すべてのご協力に感謝の言葉もありません。

今後も本書が、世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」さらには日本の蚕糸業、絹文化の総合的な調査研究の一層の深化への基礎となることを願ってやみません。そのために、より多くの方の調査研究、教育普及活動への積極的な参加など、引き続き皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

群馬県立世界遺産センター

所長 高橋 陽 一